

ともしび ブダより

第93号



社会福祉法人 依田窪福社会

事業別連絡先一覧

- | | | | |
|---|----------|-------------------|----------|
| ●法人本部 | ☎85-2202 | ●デイサービスセンター 武石 | ☎75-0522 |
| [E-mail] info@yodakubofukushikai.jp | | ●ヘルパーステーションこすもす | ☎85-0098 |
| [U R L] http://www.yodakubofukushikai.jp/ | | | |
| ●依田窪特別養護老人ホーム | ☎85-2218 | ●デイサービスセンター 長門 | ☎68-0226 |
| ●短期入所生活介護事業 | | ●小規模多機能型居宅介護 大門の家 | ☎41-2123 |
| ●依田窪福社会居宅介護支援事業 | ☎85-2047 | ●デイサービスセンター 和田 | ☎88-0077 |
| ●相談支援事業 花もも | | ●高齢者生活福祉センター | |
| ●寄り合い処 なすな | ☎75-0522 | ●グループホーム和田 | ☎88-0088 |

特別養護老人ホームともしび

依田窪南部中学校 職業体験



事前に健康観察や感染対策を行い短時間で実施しました。
生徒の皆さん、緊張しながらも一生懸命取り組んでくださいました。

パンの日



昔馴染みの地元のパン屋さんのパンを食べていただきました。名物の牛乳パンが人気でした。

夏野菜 収穫中!



ともしび産の夏野菜を収穫しました。どれもつやつやしていて美味しそうです。

土用の丑の日



今年の夏の暑さを乗り切れるように、お昼にうなぎをいただきました。



複数のご家族から職員へお便りをいただきました。いつも暖かいお気遣い、ありがとうございます。



依田窪福祉社会居宅介護支援事業

あなたの歴史教えてください。

私たちケアマネジャーは、ご利用者やご家族に、生活歴(ご利用者がこれまで生きてきた歴史)について尋ねることがあります。生まれた場所や今に至るまでどのような生活を送られてきたのか、何が好きだったのか等をお聞きます。「そんな頃からの話をするの?」とびっくりされることもあります。

話をすることでどのような人生を歩んでこられたのか。得意分野や興味のあったことなどを知ることができます。(また歴史的な背景も垣間見ることができ、とても勉強になります。)

認知症の方の場合は、比較的鮮明に覚えておられる昔の記憶からお聞きすることでスムーズに会

話ができて、その中から興味、関心があり、今でもできることがないか、と考え、実際に行うことで自信を持っていただけます。

年を取っても病気になってもこれからも大切にしたい思いがたくさんあります。私たちは皆さんの思いを大切にして支援を行いたいと考えています。皆さんのことを知るためにいろいろなお話を聞かせてください。



デイサービスセンター武石

発見が〈カギ〉

ご利用者が、タオルで雑巾を縫ってきてくださいました。縫い目の間隔もそろっています。雑巾縫いを競争すれば、きっとご利用の方が早くし上げてしまうことでしょう。昔取った杵柄は歳を重ねてもそうそう衰えないものです。「またお願いしますね!」生活の中で役に立つ事や仕事があることが大切です。



手際よく巾着作り お裁縫ごと



10キロのスイカ割り



制作!ひまわり畑で記念撮影

ご利用者の会話や活動の中で、その方の新しい発見に出会えるとウキウキします。得意なことや興味を持っていることを發揮して頂けるよう、職員間で共有して日頃の活動に取り入れるよう心がけていきたいと思っています。

ヘルパーステーションにすもす

ヘルパーが大切にしている事

私達、訪問ヘルパー職員は、ご利用者との信頼関係を築く事を大切にしています。家に誰かが来て、家の中を見られる事は誰でも抵抗があるものです。初めての訪問では、ご利用者とコミュニケーションがとれるようにしています。信頼関係が築けると援助も自然と進んでいきます。日頃の悩みを聞いたり、趣味のお話を聞いたり、そういった何気ない会話を大切にしています。ご利用者が今日もお元気な姿を見せて欲しい…そう思いながら訪問に向かっています。



寄り合いなすな

新型コロナウイルス感染症が落ち着いていた6月に、念願であったうな重を諏訪に食べに出かけてきました。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら外出計画を立てて行きたいと思います。



諏訪湖と間欠泉をバックに記念写真をパチリ!



諏訪のうなぎのやわらかさと香ばしさに、舌鼓をうちました。



皆さん、うな重に大満足! 美味しく頂きました。

継続は力なり

転倒予防のため、朝のラジオ体操を始めて2年が経ちました。今では音楽が鳴ると自然と身体が動くようになりました。ご利用者がとてもお元気だということがわかり、ラジオ体操以外に足の運動もしています。最後にスクワット20回はとても辛くなりますが、終わったら自分の足を褒めてあげます。そのおかげで、転んでしまったという話も少なくなりました。転倒のリスクが減ったということはもちろんですが、1日の始まりという気持ちになり元気にスタートができるように感じます。



このコロナ禍中で、外出する機会が減り、外出をしても車の中で見学するということが多く、歩くことが少なくなりました。コロナが騒がれなくなったら、「杖がなくても、歩行器がなくても自分の足で歩いて出掛けよう!」を目標に、ボール体操を始めました。ボールを持ちながら身体を動かす体操はとてもキツイ。ですが、朝のラジオ体操のように、継続していくことで転倒のリスクが減り、それが力となり良い方向に向かいます。続けていくことで、楽しみが増えると思います。これからも活気あふれるデイサービスにしていきたいと考えています。

小規模多機能型居宅介護

大門の家

手作り味噌

お味噌作りはご利用者が若い頃にはよく見られた光景かと思えます。

「昔を懐かしみながら味噌作りの工程の一つ一つを皆さんと思い出しながら作業して、出来上がった味噌を皆で味わいたいね!」という思いから、去年初めて挑んだ味噌づくりは、麴づくりから始まり蒸かす、茹でる、混ぜるなどすべて手作業で行いました。ご利用者には大好評で、さらに出来上がった味噌も、これまた予想を上回る美味しさで春先まで味わうことができました。



その味噌づくりを今年も5月に行いました。今年は欲張ってなんと昨年の三倍量を仕込みました。量が多くなれば作業も大変ですが、さすが昔取った杵柄。この量をものともせず、昔話をしながら作業を楽しめました。麴づくりは「40度以下に下がらぬように!」と指令を受け、夜勤者は温度計片手に3日3晩、温度調節の重責を担いました。どの作業工程も、職員もご利用者も真剣で夢中です。一つの工程を終えるごとに安堵とやり終えた満足感で、皆さん、とても良い表情です。

介護が必要な状況になると、日常生活や社会生活から切り離されてしまうことも少なくありません。ですが、こういう営みがあるからこそ心身の機能を維持できるのも事実です。

やれるけどやらないこと。1人ではやらないけど、皆がいればできること…等々、ご利用者の可能性はまだたくさんありそうです。ご利用者と過ごす日常を通し、大門の家ならではのことに今、少しずつ挑戦しています。

グループホーム 和田

徘徊と笑うなかれ

藤川幸之助

徘徊と笑うなかれ
母さん、あなたの中で
あなたの世界が広がっている
あの思い出が今になって
あの日のあの夕日の道が
今日この足下の道になって
あなたはその思い出の中を延々と歩いている
手をつないでいる私は
父さんですか
幼いころの私ですか
それとも私の知らない恋人ですか
妄想と言うなかれ
母さん、あなたの中で
あなたの時間が流れている
過去と今が混ざり合って
あの日のあの若いあなたが
今日ここに凛々しく立って
あなたはその思い出の中で
愛おしそうに人形を抱いている
抱いているのは
兄ですか
私ですか
それとも幼くして死んだ姉ですか
徘徊と笑うなかれ
妄想と言うなかれ
あなたの心がこの今を感じている

これは、認知症になったお母さんを介護されていた方が書かれた詩です。

「認知症か?おかしなことを言っている」「認知症か?おかしな行動をするようになった」認知症に対して、そんな風なイメージを持たれている方も多いかもかもしれません。認知症を理解し、その方の背景や思いに寄り添ったとき、認知症に対するイメージが変わります。地域の中での認知症に特化した施設として、貢献していきたいと思います。

デイサービスセンター 和田

「今日はモンちゃん、いる?」最近のデイサービスでのご利用者の合言葉です。

モンちゃんとは、職員が時々同伴出勤してくる愛犬です。モンちゃんはとてもおとなしく愛くるしいのでたちまち人気者になり、すっかりデイサービスの一員となりました。

昔は家でペットを飼っていた方も多かったと思いますが、高齢になり新たに飼うことも難しくなり動物とふれあう機会も減ってしまった中で、デイサービスに来る新しい楽しみができたこと喜んでおられるご利用者が沢山いらっしゃいます。

犬とのふれあいはドッグセラピーとも呼ばれ、精神

的な癒しとなり情緒的安定やコミュニケーション能力の向上、運動機能の向上に効果があると実証されています。また、認知症状の改善にも期待ができます。実際、普段は口数が少なめな方が声を出す機会が増えたり、認知症状があり新しいことを覚えることが苦手な方が、モンちゃんの名前は一度で覚えて、毎回会えるのを楽しみにされていたりしています。また、そばに行きたくて一生懸命にご自分で歩いて行こうとする方もおられ、動物とのふれあいが意欲の向上に効果があることを職員一同、肌で感じています。これからも、ご利用者の【幸せな時間、幸せな気持ち】と一緒に共有していきたいと思っています。



一緒に楽しく体力づくりをしませんか?
おたっしゃ倶楽部は皆さんを待っています!



貸借対照表

令和4年3月31日現在 (単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	151,487	流動負債	30,780
固定資産	408,431	固定負債	50,374
基本財産	316,221	負債の部合計	81,154
その他の固定資産	92,210	純資産の部	
		基本金	1,000
		国庫補助金等特別積立金	292,680
		その他の積立金	10,000
		次期繰越活動増減差額	175,084
		(うち、当期活動増減差額)	(124)
		純資産の部合計	478,764
資産の部合計	559,918	負債及び純資産の部合計	559,918

資金収支計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
(単位:千円)

勘定科目	決算額
事業活動による収支	
事業活動収入計(1)	566,493
事業活動支出計(2)	562,526
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,967
施設整備等による収支	
施設整備等収入計(4)	0
施設整備等支出計(5)	4,703
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,703
その他活動による収支	
その他の活動収入計(7)	5,383
その他の活動支出計(8)	4,406
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 977
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 241
前期末支払資金残高(11)	135,962
当期末支払資金残高(10)+(11)	136,203

事業活動計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
(単位:千円)

勘定科目	決算額
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計(1)	558,480
サービス活動費用計(2)	562,055
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 3,575
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計(4)	8,013
サービス活動外費用計(5)	4,509
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,504
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 71
特別増減の部	
特別収益計(8)	321
特別費用計(9)	126
特別増減差額(10)=(8)-(9)	195
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	124
前期繰越活動増減差額(12)	171,488
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	171,612
その他の積立金取崩額(14)	3,471
その他の積立金積立額(15)	0
次期繰越活動増減差額(16)=(13)+(14)-(15)	175,083

依田窪福祉会 評議員・役員 (敬称略) (令和4年6月14日現在)

評議員		理事		監事	
羽田 健一郎	伊藤 定衛	渡邊 和美	甲田 伸子	村岡 裕	
小川 純夫	竹内 克彦	鬼頭 寿	大島美千代	丸山 淳子	
三澤 弘道	萱津 公子	伊藤 博一			
小宮山正幸		横沢 正			

※令和4年2月22日をもって、依田典仁監事が退任し、丸山淳子さんが就任しました。

令和4年9月1日

発行者: 社会福祉法人依田窪福祉会 理事長: 渡邊 和美 編集: 広報委員会 所在地: 〒386-0503 長野県上田市下武石776-1
TEL.0268-85-2202 FAX.0268-41-4200 E-mail: info@yodakubofukushikai.jp